



第353号
2023年9月5日

愛教労NEWS

愛知県教職員労働組合協議会

部活動における熱中症対策

経験ではなく、数値^{🌡️}で判断を！

山形県米沢市で、部活動帰りの女子中学生が熱中症で死亡した。これ以後米沢市内の中学校では、熱中症警戒アラート発表時は全ての部活動が「原則中止」となった。米沢市教委によると、上位大会につながる試合に出場する部の練習は、保護者了承のもとアラート発表時でも認められるという。大会とは、そこまでのリスクを負ってでも参加すべきものなのか。

愛知県教委の認識不足はさらに深刻である。WBGTの値による部活動規制が議題の2022年9月5日の定例会で、塩谷育代委員は「数値だけに惑わされると判断が難しい。風速1メートルで体感温度が1度下がるため、現場で管理する教員の判断で決めていけばよいと思う」、飯田靖教育長は「指数の重みはあるが体感状況によって変わるため、現場の責任者が適切な判断をすべきで、判断基準を一律に決めることは無理がある」と述べた。

現場任せでは部活動の暴走は止められない。

【 副議長：加藤 】

教員採用試験一次免除 教育長推薦

愛知の教育長たちは千里眼の持ち主ではない！

2023年6月26日に行われた県教委交渉で、愛教労は今年度から教員採用試験で導入された教育長推薦の制度について質しました。講師等が市町村の教育長の推薦を得られれば、一次試験の全て（教職・教養、教科専門、小論文）が免除されるという制度です。

県教委は、「域内全ての対象者について、見落としなく適切に評価されるものと考えている」と回答しました。人口40万人の中核市で、全対象者を教育長が見落としなく適切に評価することが可能なのでしょうか。県教委は再交渉の場で「一次免除を希望する者が提出した書類により審査するので見落としはない」と回答しましたが、書類を出した全ての希望者を教育長がよく知らないであろうことは変わりません。愛知の市町村教育長たちは全員が千里眼の持ち主であると考えない限り、現場の校長などによる恣意的な判断の要素が介在することになります。

また、教育長の推薦さえあれば学科試験を一切受けず、面接（と一部教科の実技試験）だけで合格できることになります。教育長推薦の意味は非常に大きいことになります。講師等の受験者の負担を減らし受験者数を増やそうというならば、一定期間講師経験をもつ者すべてを一律に免除にする方法をとるべきです。

【 副議長：加藤 】

事務所住所：〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-26

大須土方ドリームマンション 801

TEL：052-242-4474

FAX：052-242-2938

Mail：aichi@aikyourou.jp

URL：http://www.aikyourou.jp/

HPはこちら



戦争反対！暴力反対！

#NO WAR #STOP WAR